

製品名: タリン-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18638**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:100-1:300,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	269kDa

抗原情報

遺伝子名	TLN1
別名	TLN1; KIAA1027; TLN; Talin-1
遺伝子 ID	7094.0
SwissProt ID	Q9Y490
免疫原	抗血清はヒト TLN1 の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 2471-2520

背景

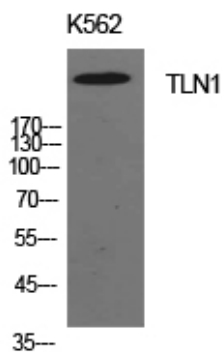
この遺伝子は、細胞基質および細胞間接触領域に集中する細胞骨格タンパク質をコードしています。コードされているタンパク質

は、アクチンフィラメントの組み立て、ならびに線維芽細胞や破骨細胞を含む様々な細胞の伸展および移動において重要な役割を果たします。細胞表面膜においてインテグリンと共存し、接着細胞の細胞外マトリックスへの接着、およびリンパ球の他の細胞への接着を補助します。このタンパク質の N 末端には、細胞-細胞外マトリックス接合部への局在化に必要な要素が含まれています。C 末端には、 β 1-インテグリン、アクチン、ピンキュリンなどのタンパク質の結合部位が含まれています。[RefSeq 提供、2009 年 2 月]、機能：主要な細胞骨格構造と細胞膜の結合に関与していると考えられます。細胞と基質の接触領域、およびリンパ球においては細胞と細胞の接触領域に集中する高分子細胞骨格タンパク質。類似性：FERM ドメインを 1 つ含む。類似性：I/LWEQ ドメインを 1 つ含む。細胞内局在：膜ラッフルにおいて LAYN と共局在する。サブユニット：ピンキュリンに高親和性で結合し、インテグリンには低親和性で結合する。PIP5K1C および NRAP と相互作用する。LAYN と相互作用する。SYNM と相互作用する。、

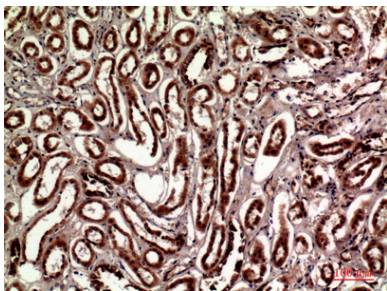
研究分野

焦点接着;

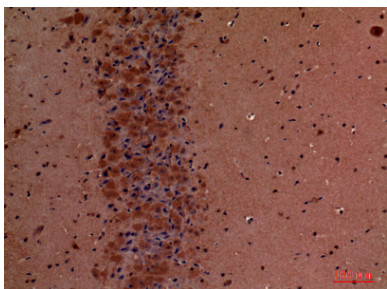
画像データ



Talin-1 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析。抗体は 1:1000 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された